

かわにし

議会だより

第154号
2023
7.15



川西町議会H.P
QRコード

未来に駆ける

議員選挙 新人3人当選	2
生活支援(補正予算)	6
町政をただす(一般質問)	9~14
問責決議(議員発議)可決	17
政務活動費報告	20

小松小学校 運動会 P15に関連記事

6月定例会の
あらまし

第2回定例会が6月6日から16日までの11日間の会期で開かれた。
第1日目に、令和4年度の繰越計算書の報告、財政援助団体の経営状況2件の報告後、契約の締結2件、変更請負契約の締結2件、財産の取得3件を可決した。令和5年度の4会計補正予算の審査を予算特別委員会に、請願1件の審査を産業厚生常任委員会に付託した。
第2日目に4人、3日目に2人の一般質問を行い、議員のなり手不足対策、スポーツ振興、農業政策について町政をたじた。
第4日目を以降に、予算特別委員会、分科会、常任委員会を開き、議案を審査した。
最終日に予算特別委員会の採決後本会議を開き、付託した4議案を原案通り可決した。追加案件で財産の取得1件、議員発議により議員の派遣2件、高橋輝行議員の不適切な現金受領に関する問責決議が提案され全会一致で可決された。さらに請願1件が採択され閉会した。

新型コロナウイルス交付金活用により

物価高騰に生活支援



今日の献立は、サイフと相談

総括質疑

臨時交付金で配慮した点は

神村建二議員

神村 3月28日閣議決定された交付金は、地域の実情に応じて配慮支援するように求められているが、本町として配慮、注力した点は何か。
神村 低所得世帯を判定する基準日によって、対象者が異なってくる場合があり、対象者の漏れがないように万全を期すよう要望する。

より重点的、効果的に活用できるように推奨メニューが提示されているが、低所得世帯の負担軽減

繰越明許

令和4年度内に事業が完了しなかった一般会計21件の事業予算、避けがたい事情で支出できなかった事故繰越1件が報告され、合計12億3456万6000円である。また水道会計で7420万円を繰越した。(P15参照)

一般会計補正予算(第1号)

(第1号)

過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業(1400万円)

きらりよしじまネットワークが行う、過疎地と都市部の交流による地域課題を解決する地域課題パートナーシップモデル事業。

デジタル地域通貨導入事業(1億1900万円)

エネルギー・食料品等の価格高騰の影響を受けている町民生活支援と町内の消費喚起を図る目的で、デジタル通貨の導入とプレミアム商品券の発行を行う事業。(スマホアプリ+カード発行)

子育て世帯応援金事業(1959万円)

コロナ禍において物価高騰の影響を受けている子育て世帯の給食費や学用品等の負担軽減を図るため応援金を支給する事業。(18歳まで1万円、1902人対象)

低所得の子育て世帯への生活支援特別給付金事業(882万円)

食費等の物価高騰に直面し、影響を受けている低所得の子育て世帯に対し、実情を踏まえた生活支援を行う事業。(児童一人当たり一律5万円、約150人対象)

低所得世帯支援給付金支給事業(4311万円)

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得者の負担軽減を図る事業。(町民税非課



堆肥利用拡大に = 堆肥散布機使用

地域内循環型農業確立支援事業(135万円)

輸入資材や化学肥料等の物価高騰の影響を受けている町内農業者に対して、堆肥利用の拡大を図り環境保全型

配合飼料高騰対策支援事業(228万円)

農業の支援を行う事業。物価高騰の影響を受け、配合飼料の価格高騰が続いているため、畜産農家の負担軽減および生産基盤の弱体化防止による飼育頭数の維持を図る事業。

次は補正予算

物価高 町 民生活支援で消費喚起

プレミアム 商品券をデジタル化

令和5年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第1号)	117億9155万円 (4億3755万円を追加補正)	全員賛成により可決
下水道事業特別会計(第1号)	4億6448万円 (3万円を追加補正)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第1号)	21億145万円 (530万円を減額補正)	全員賛成により可決

水道会計補正(第1号)

収益的支出	4億5405万円 (187万円を減額)	全員賛成により可決
-------	------------------------	-----------

一般会計補正予算(第1号)の主な内容

(歳出)	
過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業補助金	1400万円
デジタル地域通貨導入事業負担金	1億400万円
低所得世帯支援給付金支給事業 扶助費	3996万円
子育て世帯応援金事業 扶助費	1902万円
畜産所得向上支援事業 施設・農業機械整備補助	2206万円
花丘町下小松線防雪柵設置工事	1000万円
農村地域防災減災(長堀)事業 調査計画委託	1500万円
公共土木施設災害復旧事業 工事請負費	8961万円
(歳入)	
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1億162万円
過疎地域持続的発展支援交付金	1400万円
財政調整基金繰入金	6560万円



スマホなどのデジタル決済対応の商品券に

電力・ガス・食料品等価格高騰(金)を活用し、低所得世帯の支援や点支援助地方交付金(新型コロナウイルス) 子育て世帯の支援を行う。

令和5年3月28日、令和4年度一般会計新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金への支援のための低所得世帯支援枠が措置された。

低所得世帯支援では、対象世帯へ1世帯あたり3万円を。また、子育て世帯には令和5年7月1日時点で住所を有する0～18歳の児童・生徒、19～20歳の一定の障がいのある方、

用できるよう推奨事業メニューが提示されているほか、低所得世帯への支援のための低所得世帯支援枠が措置された。

和6年3月31日までの新生児および転入児童・生徒に対し、1万円を支給する。

さらに、エネルギー・食料品等の価格高騰の影響を受けている町民の生活支援と町内の消費喚起を図る目的で、本町初のデジタル通貨の導入とプレミアム商品券(30%増)を8000セット発行する。



地域拠点施設整備が待たれる、旧庁舎跡地

総務文教常任委員会

(第一分科会)

問 地域振興拠点施設整備事業は、

答 当該整備事業の財源となる都市再生整備計画事業について、計画策定ヒアリング等に係る経費である。

意 今後、全体整備事業費および財源内訳について説明すること。

問 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業の内容は、

答 今後は、全体整備事業費および財源内訳について説明すること。

意 事業の申請については、単一地区に偏らないよう各地区の意向を十分に尊重しながら申請書類の作成や事業内容の指導を行うこと。

問 吉島地区において、イメージ動画を利用したオンライン研修システムの構築による地域課題の解決と、幼少期からのICT活用講座の開催による地域づくりの人材育成に取組むもの。

意 事業の申請については、単一地区に偏らないよう各地区の意向を十分に尊重しながら申請書類の作成や事業内容の指導を行うこと。

産業厚生常任委員会

(第二分科会)

問 ふるさとづくり基金管理事業の内容は、

答 寄付者の納税手続きを簡便にするワンストップ電子申請のシステム強化を図る。

意 ふるさと納税のさらなる拡大に努めること。

問 低所得の子育て世帯への生活支援特別給付事業の内容は、

答 食費等の物価高騰を特に受ける低所得世帯の生活支援のため、令和4年度住民税均等割が非課税世帯等の児童に対し、一人あたり5万円を給付する。

意 デジタル地域通貨導入事業は、

問 令和4年8月豪雨で被災した下小松古墳群山地崩落箇所において、水路が閉塞することがないよう対策する測量設計調査業務である。

意 施設管理者の白川土地改良区からも意見を聴取しながら、他の危険箇所も含めた総合的な対策を検討すること。

問 デジタル地域通貨導入事業は、

答 寄付者の納税手続きを簡便にするワンストップ電子申請のシステム強化を図る。

意 ふるさと納税のさらなる拡大に努めること。

問 低所得の子育て世帯への生活支援特別給付事業の内容は、

答 食費等の物価高騰を特に受ける低所得世帯の生活支援のため、令和4年度住民税均等割が非課税世帯等の児童に対し、一人あたり5万円を給付する。

意 デジタル地域通貨導入事業は、

問 令和4年8月豪雨で被災した下小松古墳群山地崩落箇所において、水路が閉塞することがないよう対策する測量設計調査業務である。

意 施設管理者の白川土地改良区からも意見を聴取しながら、他の危険箇所も含めた総合的な対策を検討すること。

災害

昨年の豪雨災害の全容把握は

町長 一 被害状況のほぼ全容を把握

吉村 昨年8月3日の豪雨災害について、本町での被害状況の全容把握は確定されたのか。

町長 これまで計21回の災害対策本部会議を開催した中で、被害状況のほぼ全容を把握し、復旧・復興に向けた各種支援の実施、復旧工事の対応に取り組んでいる。

吉村 基幹産業である農業の被害についても甚大となり、今年の春作業に支障のない状況まで復旧工事が進められたのか。

町長 農地と農業用施設の大規模な被災箇所は、国の災害復

旧事業により行う。該当しない小規模な被災箇所については、山形県小規模農地等災害緊急復旧事業費補助金を活用しながら今年度の作付けに間に合うよう工事を進めてきた。同補助金の申請箇所386カ所は今季は降雪が少なく雪解けが早かったことや事業者の尽力もあり、令和4年度中に申請箇所すべての工事が完了した。

吉村 激甚化する自然災害が毎年のように繰り返される状況の中、以前の災害対応の問題点や課題を生かしながら今後の対策を立てていく事が重要と

考えるが、本町での検証は。

町長 今回の特別な災害を受け、これまで以上に早い段階での高齢者等避難や避難指示といった避難警戒レベルの判断と正確かつ的確な防災情報の発信により、町民の命を守る行動を最優先に、安全確保に万全を期すことが改めて必要であることを再認識している。

吉村 コロナ感染症が5類に引き下げられたことに対する今後の本町の考え方は。

町長 国内外の感染状況、コロナウイルスの変異の動向等に



吉村 徹 議員



ボックスカルバート設置 = まどかに行く道路復旧工事

応じ、コロナ禍で経験・実践してきた感染対策やワクチン接種などによる重症化予防に取組みながら、新たな社会経済活動を展開

定着できるよう努めていく。

その他 農地の将来像「地域計画」の策定について質問した。

町政をただす



6人の議員がするどく一般質問

定例会第2日目・第3日目に一般質問が行われ、6人の議員が町政について質問しました。(発言順)に掲載します。

P9	吉村 徹 議員	① 昨年8月3日の豪雨災害の全容は ② コロナ感染症の5類引き下げの考えは ③ 農地の将来像、「地域計画」はどうなる
P10	茂木 晶 議員	① 今回の統一地方選挙と今後の選挙の在り方 ② 地方議員のなり手不足問題 ③ 若者議会
P11	寒河江寿樹 議員	① スポーツ振興 ② 休日の部活動の取り組み ③ 公共施設の使用
P12	橋本 欣一 議員	① 学校給食の無償化 ② 中心市街地活性化と地域振興拠点施設整備関連
P13	鈴木 孝之 議員	① 基盤整備事業取り組み状況 ② 重点作物「川西の定番」である枝豆振興状況 ③ 企業の誘致実績
P14	高橋 輝行 議員	① 保育料を無償化すること ② 本町の財政状況

一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見るすることができます。(https://www.town.kawanishi.yamagata.jp)
①抜きの数字は掲載された質問。それ以外は誌面の都合により掲載できなかったもの。

まちの未来が見える(6月定例会の傍聴者は8人)
議会傍聴においでください
次回定例会は9月です

どなたでも傍聴できます(事前連絡は不要です。役場3階においでください)
定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。



一般質問

選挙

若者の政治参加を促すには

町長 ー 関心を持っていただけるよう取り組んでいる



茂木 晶 議員

茂木 若者の政治参加を促すため、どのような取り組みをしてきたか。

町長 小・中学生を対象にポスターコンクール、選挙時の啓発、成人式でのパンフレット配布等を行ってきた。また、置賜農高生を対象に選挙啓発の出前講座の実施や、若者世代に立会人を経験していただき、関心を持っていただくよう取り組んでいる。

り組んでいる。

新人候補者への配慮が必要

茂木 立候補予定者事前説明会を6カ月前や3カ月前にも実施すべきでは。

町長 立候補予定者への説明会は、投票日の約1カ月前に開催している。事前に相談をいただければ個別に対応する。

公開討論会の実施を

茂木 町が主催する公開討論会を実施し、各候補者の声を聞く環境をつくるべきでは。

町長 公平かつ適正な実施、管理を担う立場であり、公営で主催して行うことはできない。
茂木 愛知県新城市では条例で公開討論会に取り組んでいる。

地方議員のなり手不足対策

茂木 報酬増額を検討し、増額に合わせる議員定数削減を議員発議によって改正していくべきと考えるが。

町長 全国的な課題で、住民自治の根幹に関わるものである。国の動向を踏まえながら引き続き調査・研究に努めていく。

若者議会の開催を

茂木 「若者議会」をつくり、若者がまちづくりや政治に興味を持ってもらえる取り組みをすべきでは。

町長 若者が政治について学び、主体的に社会や未来について考え行動することは、まちづくりを進める上で大変有意義であると捉えている。
平成16年と17年に町内3中学校の生徒代表



選挙啓発の出前講座 = 置賜農高

による「模擬議会」を開催、平成18年に町政50周年記念事業として「中学生模擬議会」を開催した。また平成27年には、町政60周年記念事業として「女性議会」を開催し、意見や政策への提言を頂いた。

茂木 記念事業として「模擬議会」を開催だけでなく、継続した取り組みにしていかなければ、成果は上がらないのではないかと

健康に対するスポーツの位置付けは 教育長 ー 町スポーツ協会を通し充実を期す

スポーツ振興

寒河江 スポーツ振興について、全ての人々がスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことができる権利がある。
単一種目に偏らず、援助・支援が必要ではないか。

教育長 かわにし未来ビジョンのとおり、生涯現役で生活ができる健康元気づくりを推進するため、町スポーツ協会を通し充実に取り組んでいる。
寒河江 休日部活動の取り組みと、地域移行後の公共施設への送迎・使用料・指導者の待遇はどのようになっているのか。

教育長 地域の実情等に可能な限り早期の実現を目指している。休日の部活動は、準備できるものから選択し、希望する生徒が参加する考えである。今年度は、受け皿となる実施主体・団体の組織化に向けた検討を進め、協議会を設置する。公共施設での活動の場合、自治体で定める使用料を徴収することとなるが、近隣自治体と連携した整理も必要になる。

寒河江 ホッケーの町・川西となつて30年経つが、普及推進に関連し補助した内容は、町民の方々の

議会に明示し、経過報告、意見交換すべきと考える。
教育長 ホッケーの町として、毎年約48万円と6年に1度川西町で開催となる4種類の大会に、1大会当たり60万円から90万円を支出している。今後もホッケーの町・川西として普及推進と競技力強化を図っていく。今後は、町民の方々・議会に経過報告・意見交換をすべきと考える。

寒河江 公共施設の使用について、同じ町民でもホッケー競技は会場の使用料が町内・町外を問わずほとんどが無料なのはなぜ

町長 ホッケー競技については、ホッケーの町・川西というか。町内のスポーツ少年団・中学校の活動の児童生徒が町外の団体との交流等で町外料金を払っているのは、どのような理由からか。

ことで使用料は免除している。町内のスポーツ少年団・中学校の活動が町外との合同使用の際の町外料金の扱いについては指摘のとおりであり、現状の把握に努め検討していく。



寒河江寿樹 議員



ニュースポーツ「モルック」で楽しく健康づくり = 町健康レクリエーション大会

一般質問

学校給食

学校給食無償化の考えは

町長 ー 予算の確保が困難である



橋本欣一 議員

橋本 子育て支援や物価高、子どもの貧困化などを背景に全国的に学校給食の無償化が広がっている。県内でも10の自治体で完全無償化され、12の自治体で半額や一部助成が実施されている。

保護者の生活環境や食生活の変化、コロナ禍などで子どもの食生活が乱れているとの指摘がある。学校給食は、栄養バランスが取れ、

友だちと楽しめる時間でもある。

さらに、「食育」として位置づけられ、人間生活の基本である食事・食文化を伝える教育の柱でもある。

子どもの健やかな成長を保障し、安心して生み育てる環境を実現するため、学校給食の無償化をすべきでは。

町長 学校給食の無償化は、保護者の負担軽減や栄養バラン

スの取れた食事、給食費の徴収事務の軽減などにつながる。

一方、予算の確保が課題で、実施している自治体の6割が臨時交付金を活用しており、交付金が恒久的でなければ継続できない。政府での検討課題でもあり、国の少子化対策の動向を注視する。

町長 コロナ前から実施の自治体は、子育て支援として実施

されて、コロナ後は保護者の経済支援として行われている。町ではこれまで医療費の無償化、病児保育の設置など先進的に子育て支援を進めてきた。今後、財政見通しや他自治体の動向を注視していく。

橋本 庁舎跡地利用の拠点施設を中心市街地活性化にどう結

町長 小松地区の中心部は、庁舎移転、人口減少による空洞化、後継者不足等での商業の減退など、大きく変化している。

「丘」と位置付け「人、

モノ、コト」を結びつける拠点として、地域住民、利用者が一体となって検討していく。

橋本 検討でも運用でも、地区センターの負担にならないようにすべきである。



今日もおいしい給食です(写真はイメージです)

基盤整備事業の今後の取り組みは

町長 ー 進捗状況を踏まえながら検討

鈴木 少子高齢化による人口減少に伴う農業就業人口減少の中、基盤整備事業は、必要不可欠であり、財政負担は増えるが、担い手不足、高齢者離農に伴う農地の受け皿として担い手、後継者への農地集積機能が強化されると考える。今後計画されている7年度以降の計画は。

町長 時田、堀金をはじめ7地区から町に対して事業採択の要望を頂いている。町の財政負担は10%で多額なものになっている。7年度以降の新規事業の採択に向けた考え方としては、ため池事業

や大塚西部1期の事業進捗状況を踏まえながら検討していく。

鈴木 基盤整備事業は、平成22年ごろから地区を皮切りに実施され、今年度から中大塚地区の測量設計が開始予定となっている。

町長 現在工事が完了しているようなく地区等では、キャベツやアスパラガス、枝豆等それぞれ営農計画に位置付けられた園芸作物が作付されている。残念ながら、令和4年度実績ベースで当初の

目標面積に達している地区はない状況である。コロナ禍で市場価格が不安定である事や、豪雨被害等が原因と考えられる。

鈴木 川西の重点作物である枝豆の振興状況および販売状況は。

町長 現在本町では枝豆を産地交付金の重点推進作物として位置づけ、作付拡大に取り組んでおり、近年では栽培講習会や実証事業の活用等により新規栽培者の拡大や栽培技術の向上を積極的に図ってきた。

J Aに聞き取りしたところ、3年度86・9

ha 9345万円、昨年度81・2 ha 6200万円と大幅な減少となった。本年度の作付予定は71・3 haとさらに減少する計画となっている。

町長 今後の振興方策として再生協議会の中でも産地交付金の検討がなされているが、他市町並みの支援単価の見直しを含め今後の振興策は。

町長 課題解決にあたっては、県および

び町とJA等の関係機関や生産者が連携し、生産から流通まで一貫して品質向上を目指し「置賜産枝豆」のブランド化を展開するとともに、新規栽培者の掘り起こしや現生産者の作付拡大に継続的に取り組む、産地の強化を図ることが必要であると考えている。

その他 企業誘致の実績および今後の誘致計画について質問した。

基盤整備



鈴木孝之 議員



基盤整備で3大園芸作物の振興強化を

一般質問

財政 町長 財政健全化計画策定は行っていない



高橋輝行 議員

高橋 河北町（山形）は、町の総合計画の中に投資的経費の削減など財政計画を出している。また、会津坂下町（福島県）は、町村や全国の類似団体との比較をして、財政健全化アクションプランを策定し、財政調整基金の額など数値目標を出している。

町長 数値目標は必要と考えるが、健全な財政運営は「健全化判断比率」が一つの目安と考えている。数値目標に縛られざるための財政支出に制限をかけるを得なくなるため、数値目標の設定については、慎重に研究していく。

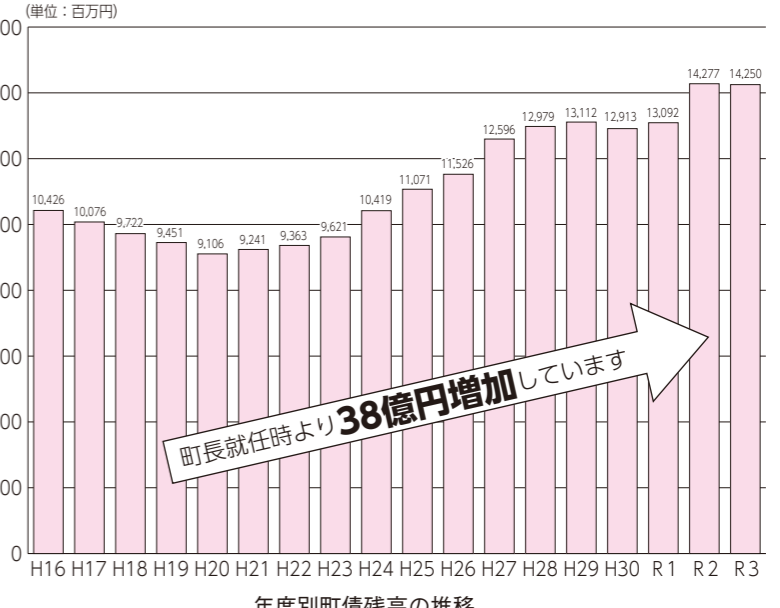
高橋 0歳から2歳までの保育料、全階層を無償化せよ

費用の段階的完全無償化等を公約に掲げられた。令和3年9月から国の施策に加え第3階層および第4階層に対し、県が保育料の2分の1を負担することを開始し、令和4年度からは町も同階層に2分の1を負担することで保育料の無償化を図っている。

高橋 白鷹町は町独自の過疎債のソフト事業分を活用し、全

階層を無償化している。過疎債の償還の際、元利償還の70%が普通交付税として国から町へ交付される。有利なこの財源をどのように検討されたか。

町長 過疎債は法に基づいて認められた地方債である。ソフト事業分に



本町でも、数値目標を示すべきではないか（両町とも国の示す分

類で川西町と同じ類似団体ⅣのⅠ）

保育料、全階層を無償化せよ

費用の段階的完全無償化等を公約に掲げられた。令和3年9月から国の施策に加え第3階層および第4階層に対し、県が保育料の2分の1を負担することを開始し、令和4年度からは町も同階層に2分の1を負担することで保育料の無償化を図っている。

高橋 白鷹町は町独自の過疎債のソフト事業分を活用し、全

階層を無償化している。過疎債の償還の際、元利償還の70%が普通交付税として国から町へ交付される。有利なこの財源をどのように検討されたか。

町長 過疎債は法に基づいて認められた地方債である。ソフト事業分に

繰越明許

27事業繰り越し

令和4年度の事業において、年度内にその事業が終わらず、翌年度に繰り越して支払いしなければならないもの。全部で27事業、総額

は一般会計、水道会計を合わせて13億3989万円となる。町当局はこれらの事業を遅滞なく進めるとしている。

財産取得

消防団に軽4WD車導入

令和4年度から繰り越した主な事業

事業名	繰越額	財源内訳		
		既収入 特定財源	国県支出金	町債 一般財源
地域振興拠点施設整備事業	5912万円			5850万円 62万円
被災事業者支援事業	830万円			830万円
虚空蔵山西線道路改良工事	5097万円		3135万円	1860万円 102万円
河川管理事業	6010万円			5950万円 60万円
中学校施設維持管理事業	5246万円			5240万円 6万円
農業施設災害復旧事業	3億7877万円		3億3978万円	3160万円 739万円
民有林林道災害復旧工事	1億793万円	353万円	8757万円	1660万円 22万円
公共土木施設災害復旧事業	3億6883万円		2億4352万円	9240万円 3290万円
橋梁長寿命化修繕整備事業	3112万円		1876万円	810万円 426万円

水道事業会計で繰越した事業

工事名	繰越額	財源内訳		
		国県支出金	企業債	その他
建設改良工事	7420万円	1477万円	2540万円	3402万円

*万単位まで。以下切り捨て。水道事業は企業会計で独立



機動力を発揮する運搬車

消防団組織再編と災害の多様化に対応し、機動力強化を目的として車両化を図る。
《配備物件》
 軽4WD資機材運搬車2分団1台、3分団2台、7分団1台
《契約者》
 ㈱富樫モータース

《契約金額》
 765万6000円
《納入時期》
 12月15日
 今後、他分団への配備が計画されている。他に更新計画により
 ・美郷幼稚園通園バス
 ・除雪ドーザ(11t級)
 ・除雪機(1m幅ロータリ)を購入する。

表紙の写真
 一年で一番昼が長い日となる夏至。6月21日に小松小学校の運動会が行われた。全校児童232人が赤白に分かれ、個人戦、団体戦で汗を流した。
 1年生は80M競争。運動会で初めて走る児童もいて、練習通りに走れたり、走れなかったりしたようだ。
 白いテープのゴールに向かって懸命に駆け抜けていく姿は、未来につながる走りのようにたくましさを感じた。できればオリンピック出場に向けて欲しいと期待が膨らむ思いの日だった。

次は請願・請負契約

※類似団体 市町村を人口と産業構造により、分類したものであり、類似する他町村との比較により財政状況の特徴を把握することが可能になる

請願

《請願名》
「食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願について」

《請願者》
山形おきたま農業協同組合 代表理事組合長 若林 英毅

《紹介議員》
鈴木 孝之

《所管》
産業厚生常任委員会

《主な内容》
特に左記事項を、生産現場の声として強力に国に働きかけを求める。

1. 認定農業者等の担

小・家族経営などの「多様な担い手」が果たす役割は極めて大きいため、農村振興のみならず、農業振興の観点からも「多様な担い手」を基本法にしっかりと位置付けること。

2. 水田活用の直接支払交付金の見直しに止まらず、ゲタ対策等の経営所得安定対策や、個々の農家に対する新たな直接支払制度の導入を含めた施策全般にわたる見直しを行うこと。

《審査の経過と結果》
願意妥当で採択

《本会議》
全員賛成により採択

負約 請契

大塚小プール改修
平成2年に改修が行われ、以降軽微な補修をしながら使用されてきたが、経年劣化が激しいことと、設置状況も当時のままで、管理環境の向上を図ることから、既存施設を解体し、新築するもの。

《本会議》
全員賛成により可決



プール改修で元気な声が待ち望まれる

大塚小プール改修に着手 花丘町・下小松線防雪柵設置も契約

今年度整備中は犬川小プールを使用。指名競争による入札

《契約者》
株式会社殖産工務所

《契約金額》
1億7270万円

《工期》
12月15日

《本会議》
全員賛成により可決

花丘町下小松線防雪柵設置工事
事業区間939・5m中、下小松2番公民館付近から南へ200mの施行となる。指名競争入札

《契約者》
株式会社殖産工務所

《契約金額》
5962万円

《工期》
11月30日

《本会議》
全員賛成により可決



下小松地内=旧国道287号・西回り幹線Y字路付近(常設型防雪柵)

責議 問決

高橋輝行議員に対して、議員発議により、問責決議が出され可決された

令和5年4月30日付けの山形新聞に高橋輝行議員が町の空き家バンク制度に関し、町内男性から手付金名目で現金100万円を受領していた記事が掲載された。高橋議員は売主から鍵の管理を任せられているとして交渉も行っていたが、本来であれば議員本人が現金を受け取る立場にはない。

として、この問題は解決したと3月30日の全員協議会開会前に議場で発言した。しかし、その後も複数のメディアに取り上げられるなど、町民に対し不安と失望を与えた。

平成4年12月に決議された「川西町議会政治倫理に関する決議」の中に「議員は町民の信頼に値するより高い倫理的義務に徹し政治不信を招く公私混同を断ち、清廉を持し、かりそめにも町民の非難を受けないよう政治腐敗の根絶と政治倫理の向上に努めなければならない」と明文化されている。

この度の失態は、議

員としての自覚と心得えを欠き、町民に寄り添い、支えていくべき役割であるにも関わらず、高橋議員の不適切な行為は看過できない。公職に就く者として政治倫理に準じ行動をただしていかなければならない。

この問題は、返金したから解決、最終させらるべきではない。川西町議会の信頼性を著しく失墜させ、町民に対し迷惑を掛けることとなった。

よって、本議会としては、かかる事態を重くみて高橋輝行議員に猛省を求め、議員としての自覚と責任ある行動を促すため、ここに

問責決議をあげるものである。

一、町議会本会議において、当該空き家の管理及び手付金受領に関する説明をすること

一、町民に対しても同様の説明責任を果たすこと(全文掲載)

高橋輝行議員除斥の上
全員賛成により可決



議長に問責決議案を提出


次は報告

女性団体協議会の皆さんと共に、3月議会を初めて傍聴しました。豪雨災害対策の一つに「田んぼダム」の実証実験で減災効果が確認されたことなどを話して聞きました。

広報モニターから

ひとこと①

吉島 坂田トシ子さん



これからは関心を持って、たくさんの方の町政情報や議会だよりを見ていきたいし、多くの方にも読んで頂きたいと思います。議会だよりを見れば、どんな川西町になっているかわかる「だより」にしてほしいと願っています。

先日、青森の限界集落のテレビ放映があり、みんな元気で大変な仕事も「やるしかない」と働いている姿や週一回無料のマイクロバスで出かけ、風呂に入り、持ち寄りの料理で心かよわせ、疲れを癒やしている姿にとっても感動しました。

私も、健康で長生きするためにラジオ体操30分のウォーキング、百歳体操や我が家で作っている野菜をたっぷり食べ、くよくよせず元気に過ごすことを心がけていきたいと思っています。

ダリヤパークサービス コロナ後 利益回復傾向

地方自治法により、町から2分の1以上の出資や財政的支援を受けている法人等は、議会に経営状況を報告しなければならないとされています。西土地開発公社（鈴木清隆理事長）が該当し、それぞれ報告された。

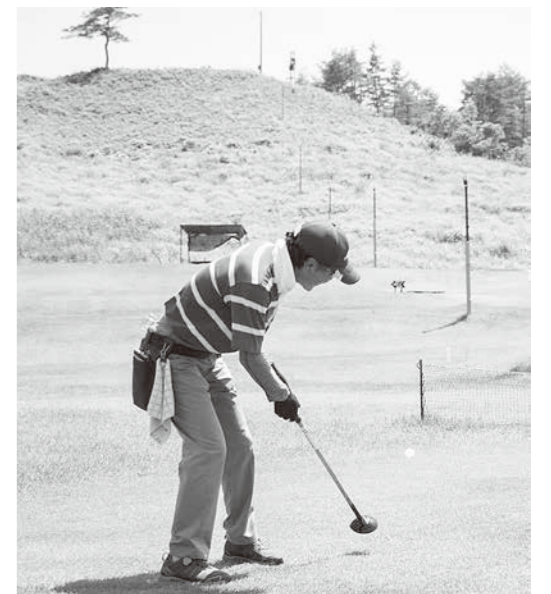
今期は、以前より日常生活ができる環境となり、浴センターまどか、ダリヤパークゴルフ場共に、売り上げや利用者は昨年より大幅な増加となった。しかし、電気・灯油等の光熱費の高騰やさまざまな原材料の値上げ、加えて昨年8月の豪雨災害により、ダリヤ園



ダリアドーム撤去ですっきり = まどか

周辺が甚大な被害を受け、主要道路が通行止めになるなど、二重三重の厳しい状況での営業活動となった。今後も電気料金をはじめ、さまざまな原材料の値上げなど厳しい状況が続くことが予想されるが、前向きな視点で知恵を絞り、さらなる誘客増につなげ、

経営の健全化を目指していくとしている。
浴センターまどか
本県で実施された「やまがた旅割りキャンペーン」を最大限活用した。
利用者数については、レストラン以外で増加している。9万8970人で、前期より230人増となった。(前年比102・4%)。
レストラン利用者の大幅減は、豪雨災害の影響、ダリヤ園の開園期間短縮等が要因と考えられる。
売上高は1億4033万4000円。前期より3837万9000円増(前年比137・6%)となった。



思いどおりにナイスショット = パークゴルフ場

ダリヤパークゴルフ場

オープン5年目になり、毎年利用者が増加している状況である。
今期利用者数は1万7186人。前期1万6599人に対し、587人増となった。(103・5%)。
4月中旬から12月上旬まで、229日間の営業であり、1日平均利用者数は、今期75人。前期より6人増となった。
売上高は1007万7000円。前期902万7000円で105万円の増額(前年比111・6%)となった。

川西町土地開発公社

用地売却進まず
完成土地等で尾長島工業団地内の企業誘致用地の売却促進、維持管理を行う。開発中土地で尾長島工業団地内付帯用地の取得に務めた。売却には至っていない。

臨時会

議会議員選挙後 議会構成を決定

第2回臨時会 5月1日

4月23日に執行された町議会議員選挙の改選後初議会。
議長をはじめ、議会の構成を決定した。(本紙P2を参照)

第3回臨時会 5月9日

【専決処分】
議会を招集する時間がなかったため、処分を行ったもの。

- 水道事業会計(専第1)
- 正安寺送配水管断裂による仮送配水管布設工事。
- 一般会計補正予算(第

全員協議会

全員協議会 6月14日

- 10号(専第2)
- 介護保険事業特別会計補正予算(第4号)(専第3)
- 2 議案とも事業費確定により減額。
- 【条例】
 - 川西町税条例の一部を改正する条例
 - 川西町都市計画税条例の一部を改正する条例
- 令和5年度の税制改正に合わせた地方税法等が改正されたため。**全員賛成により可決**
- 国民健康保険税条例の一部改正
- 令和5年度の税制改正に合わせた地方税法等が改正されたため。**賛成多数により可決**(反対2人)

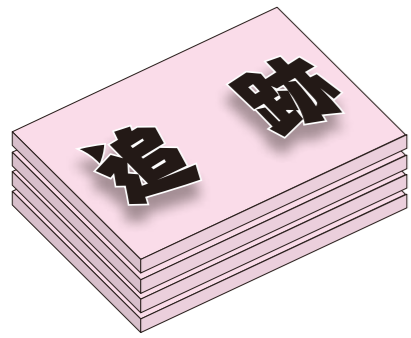
- 1、損害賠償の進捗
元職員の自死事件に關して係争中であるが、裁判所より和解案が提示され、合意の方向で検討中である旨の報告があった。
- 2、統一的な基準による財務書類
平成28年度会計から貸借対照表などの会計処理を行うこととなったため報告された。
- 3、令和6年度川西町重要事業要望書(案)
例年、山形県に対して本町の重要事業を要望するにあたり、新潟山形南部連絡道路の整
- 4、置賜広域行政事務組合臨時会の概要報告
議会議員選挙により議会構成が変わったため選挙が行われ、本町議会からは井上晃一議長が副議長に、議会運営委員に寒河江寿樹議員が選出された。他4議案が可決された。
- 5、置賜広域病院企業団議会臨時会の概要報告
議会議員選挙により議会構成が変わったため委員の選任が行われ、本町からは神村建二議員が議会運営委員に選任された。

6月定例会の議決状況

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
議員名	茂木 晶	鈴木 孝之	寒河江寿樹	遠藤 明子	渡部 秀一	寒河江 司	吉村 徹	鈴木 幸廣	神村 建二	橋本 欣一	高橋 輝行	伊藤 進	井上 晃一
5/9臨時会 議第46号 川西町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○
高橋輝行議員の不適切な現金受領に関する問責決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	○

他の議案はすべて全員賛成でした。○は賛成、×は反対、-は欠席。議長は賛否に加わらない。

※除斥とは 本人に関する議決をする場合本人は議決できないため、退席となること



あれから…… どうなった！



オープンに向け準備が整う = 「レスト」(旧東沢小学校)

株式会社レストは、再生可能エネルギー暖房機器の新ストーブと薪の販売を通じ、日本はもちろん世界的規模での環境問題に取り組むとしている。また、

旧東沢小学校

平成30年3月に閉校となつた東沢小学校の利活用がいよいよ本格化し、薪ストーブ専

空き校舎の利用始まる

門店の株式会社 Rest (レスト) / 代表取締役横山森之氏) が7月15日頃にオープン予定。

地域行事にも協力
旧校舎や体育館・グラウンドの貸付期間は令和4年4月1日から令和14年3月31日までの10年間となる。体育館は地区の避難場所にもなっており有事の際は利用できる。グラウンドにおいても地区行



有効利用されている旧東沢小学校

連携を実現するとして営業を開始する。事業は薪ストーブの他に、住宅、店舗の新築・リノベーションをはじめ、障がい者福祉施設、就労支援B型事業所やカフェレストラン・キャンプ場・ドックラン・屋内外遊技場を併設している。

事の際は利用可能である。同社は、地区のシンボルである同校の利用に関して地域住民の活動に最大限協力するとしている。今後の課題として、林業の衰退をあげている。林業の多くは重機を多く使用するため、初期投資がかかり参入の足かせとなっている。山林の境界線も分からない状況なので整備にも各自治体の力添えが必要である。校舎の利用は東沢地区および川西町にとつても大変意義あるものとなっている。

政務活動費

全議員の 使途を公開

本議会では議員活動に対して、毎月1万円の政務活動費が交付されている。議会では議会基本条例に基づいて、使途を平成25年度から公表している。各議員から報告のあった令和4年度の政務活動費の使途状況は表のとおり。議会ホームページでは、各議員の政務活動の領収書公表を行っている。県内で最初に実施したものであり、全国的にみてもいち早い対応を取ることにより透明度を高めている。

議員に交付する政務活動費の使途

経費	内容
調査研究費	議員が行う町の事務、地方行政等に関する調査研究(視察を含む)及び調査委託に要する経費
研修費	1 議員が行う研修会、講演会等の実施(共同開催を含む)に要する経費 2 団体などが開催する研修会(視察を含む)、講演会等への議員及び議員の雇用する職員の参加に要する経費
広報・広聴費	議員が行う活動の広報・広聴活動に要する経費
要請陳情等活動費	議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費
会議費	1 議員が行う各種会議、住民相談会等に要する経費 2 団体などが開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料を作成するために要する経費
資料購入費	議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用等に要する経費
事務所費	議員が行う活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費
事務費	議員が行う活動に係る事務の遂行に要する経費
人件費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費

(単位:円)

議員名	収入											
	調査研究費	研修費	広報・広聴費	要請陳情等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	事務費	人件費	政務活動費	その他
鈴木 幸廣	35,080						41,448		53,700		120,000	10,228
寒河江 司	25,699						9,972		62,992		98,663	0
高橋 輝行	108,440						9,972		62,992		120,000	61,404
淀 秀夫	107,000						9,972		62,992		120,000	59,964
橋本 欣一	35,080						20,028		65,580		120,000	688
神村 建二	35,080	13,000					21,797		68,352		120,000	18,229
伊藤 進							39,078		80,014		119,092	0
伊藤 寿郎							6,648		73,184		79,832	0
島貫 偕	107,000						9,972		24,000		120,000	20,972
吉村 徹	35,080						27,946		65,580		120,000	8,606
渡部 秀一	25,699						9,972		65,580		101,251	0
遠藤 明子	35,080						42,972		70,480		120,000	28,532
井上 晃一	25,699						9,972		65,580		101,251	0

令和4年4月~令和5年3月在職の議員

意見交換会

8月18・21日

皆さんおいでください



令和元年小松地区意見交換会 = 4年前

議会では、毎年地区ごとに、意見交換会を開催しています。
 昨年、一昨年は新型コロナウイルス感染症防止のため、中止しました。
 今年は、4年ぶりに開催します。

町民の皆さんからの要望・意見などは今後議会で行う政策提言に反映していきます。また、質問は持ち帰り、回答する場合があります。

正式には後日報告書で回答いたします。テーマに関わらず、気軽にご参加・ご意見を頂きたいと思っております。

日程	犬川地区	8月18日(金)	19:00~21:00	吉島地区	8月18日(金)	19:00~21:00
		犬川地区交流センター			吉島地区交流センター	
日程	東沢地区	8月21日(月)	19:00~21:00	玉庭地区	8月21日(月)	19:00~21:00
		東沢地区交流センター			玉庭地区交流センター	

◎議会広報モニター

- 佐野和久 (小松地区)
- 菅野陽子 (小松地区)
- 森谷千春 (大塚地区) 欠席
- 寒河江雅広 (犬川地区)
- 黒澤秀夫 (中郡地区)
- 大滝謙介 (玉庭地区)
- 大友篤 (東沢地区) 欠席
- 坂田トシ子 (吉島地区)

議会広報アドバイザー

- 文章 佐々木 賢一
- 遠藤 勝則
- 山田 順一
- 写真 齋藤 文夫



議会だよりの充実に努めます

モニター・アドバイザー
 私たちも参加・お手伝いします

いいね！かわにし
 街かどインタビュー

安部 美保さん
和花ちゃん親子(大塚)
 お母さんといっしょで楽しかったです。子どもの目線で、草が生い茂っていて、車が見えない場所があったので、整備してほしいです。町への要望では、小さな公園が近くにあるといいですね。



藤倉 由有さん
倅有ちゃん親子(小松)
 いつも散歩しているコースですが、道路が狭く、歩道がないのが危ないと感じます。かもしかで学んだことは、いつも復習しながら娘といっしょに学習しています。町への要望は、駅東のあづまやに遊具がほしいです。



松岡 健さん
泰陽くん(大塚)
 いっしょに歩いてみて危ない所がわかりました。子どもと安全確認をしながら楽しく参加しました。町に望むことは、ブランコのある公園がほしいです。



黒澤 保子さん
葵ちゃん親子(大塚)
 歩くのが大変でした。暑かったので、日影があれば良かったと思います。親子歩行ラリー大会に参加できて、たくさんの人と楽しく勉強できたのが本当に良かったです。



平光 智佳さん
未紗紀ちゃん・湊くん親子(小松)
 すごく楽しんで行えてよかったです。小学校へ通学するときには、水たまりに気を付けてほしいですね。あと、歩道と車道の境のブロックに上がらないでできるように注意しました。



今野まどかさん
紬ちゃん親子(大川)
 これまでは、コロナ禍で行事も少なかったため良い機会でした。信号のない所など、子どもに話しかけ、気を付けながら歩きました。お母さんと楽しくできました。



木村 舞美さん 交通安全専門指導員
鈴木ゆみ子さん 町交通安全専門指導員
山本 恵子さん 交通安全専門指導員
 来春、小学校へ入学する年長児なので、保護者の方々に見本となっていたる様に、日頃より交通安全の意識を持って行動していただきたいと考えています。



江袋 京子さん (交通安全母の会)
小関美左子さん (交通安全母の会)
齋藤 繭子さん (交通安全母の会)
 交通ルールを正しく学ぶために、かもしかラリー大会に親子で参加して頂きました。この機会に、交差点ではしっかりと止まって左右を確認することや、飛び出し行為は危険であることをしっかり学んでほしいです。



6月29日(木)幼児交通安全かもしかクラブ親子歩行ラリー大会(北斗・小松幼稚園)町民総合体育館周辺にて、インタビューしました。

子育て支援を
もっと手厚く

吉島地区にお住いの
高橋和嘉恵さんに子
育てや町に望むこと
をお聞きしました。

プロフィール

高橋和嘉恵さん(たかはしわかえ)

川西町大字洲島
家族構成は、夫と子ども3人
の5人家族
2世帯住宅で隣に父母が住居
出身地 群馬県

川西町にきて

結婚を機に川西町に
きて8年が経ちます。
辺りの風景がふるさと
に似て、とても落ち着
きますね。

雪国での生活は、除
雪作業が厄介ですが、
住みにくいとは思った
ことはありません。子
どもたちは、雪遊びが
できるのを楽しみにし
ているようです。

また、地域の方々は
温かい方ばかりで、心
からいい所だなと感じ
ています。

出合いのきっかけは？

2人とも県外の私立
小学校の教員で、私は
養護教諭、夫は体育の
先生をしていた頃に知
り合い、交際が深まり
ました。



元気いっぱい成長しています

川西に嫁いできた時
に、高山小学校への赴
任が決まりました。閉
校の節目に携われたこ
とは、貴重な経験と思
い出です。

子育て真っ盛りなの
で、毎日が目まぐるし
く過ぎていきます。

川西町の印象は？

子育て支援が、他町
より行き届いていると
感じ、とても助かって
います。

大きな総合病院が町
内にあり、小児科医院
や病児保育施設も整っ
ていて、安心して仕事

をすることができま
す。また、家の近くに子
育て支援センターがあ
り、伸び伸び遊べるの
も良いですね。

町に望むことは？

私たち若い世代は経
済的に余裕がありません。
子育て支援として、
学校給食の無償化など
を進めてもらえたらう
れしいです。

また、子どもたちを
あずけられてママさん
たちが気軽に立ち寄り
できる「お茶のみサロ
ン」がほしいですね。

編集のあとで

▼4月の選挙で新人3
人が当選し、広聴広報
常任委員のメンバーに
も新人2人が入りまし
た▼1期2年任期のモ
ニター・アドバイザー
も決まりました▼町民
の視点で見やすく、伝
わりやすい内容になる
ようがんばります▼私
自身、広報の写真担当
になり、さまざまな場
面にお邪魔するかと思
います。2年間、精一
杯取り組みますので、
よろしくお願ひします。
(もぎ)

- 発行責任者 井上 晃一
- 委員長 橋本 欣一
- 副委員長 茂木 晶
- 委員 鈴木 幸廣
- 同 伊藤 進
- 同 遠藤 明子
- 同 寒河江寿樹
- アドバイザー(文章) 佐々木賢一
- アドバイザー(写真) 遠藤 勝則
- アドバイザー(写真) 山田 順一
- 齋藤 文夫